



町政を問う

質問者



小野 景史 議員

問

児童青少年に
居場所を

児童青少年を取り巻く環境が著しく変化の中で、いじめ、不登校、引きこもり、次々と起こっている児童青少年による凶悪な事件や犯罪が大きな社会問題となっており、このような環境の中で一番精神的にも不安定な時代を過ごし、学校や家庭にも居場所の無い子どもたちの居場所、児童青少年センターの設置を。

答

健全で安心して
遊べる場所の提供
答弁 白石町長

岡田校区にある児童館の充実、松前総合福祉センターを拠点とした松前公園子供広場の利用、各校区にある身近な

公民館施設を利用できるように関係機関とも協議をし、子供たちが健全で安心して遊べる場所の提供ができるように、一層の取り組みを図りたい。今後は、親の共働きや学校の週5日制に伴う環境の変化に伴って、地域社会のかわりが希薄になりがちな子供たちの交流場所、さらには子供たちを温かい人間関係をはぐくむ場所としての児童センターの整備を考えていく必要があると思います。

問

学校選択制の導入を

社会の変化に対応し、教育現場における特色ある教育活動の展開と個性的な学校づくりが期待され、保護者の責任において、子どもに適した学校を選べる制度の導入を。

答

地域の実情や保護者の
ニーズを考慮
答弁 赤星教育長

学校選択制は、学校教育の活性化という点では合理的なシステムですが、無条件に導



児童館

入するにはデメリットも多く、採用に当たっては地域の実情や保護者のニーズを考慮する必要があります。本町では学校と地域とのつながりが強く、支援と信頼関係により適正な学校運営が維持できております。現在の良好な関係の維持が望まれており、学校選択制を希望する意見もなく、今のところ学校選択制導入に向けた姿勢は取っておりません。

問

宗意箱町管住宅の計画の進捗状況と、先行して整備の必要な東西の進入道路の事業化は。

答

平成18年度から
事業着手
答弁 石川助役

事業スケジュールに基づき先月に関係6区長に説明を行いました。引き続き入居者等の皆さんに説明を行うと共に、事業採択に向けて、国、県と順次協議を進め、平成18年度から事業着手の予定であります。進入路については、西側には伊予鉄の踏切の横断と県道との取り合わせなどの問題があり、現時点では東側からの進入を考えています。